

# 地域を守る新生八幡平市消防団

## 防火・防災へ決意新たに

1月3日に行われた消防出初式と4月1日から新体制でスタートする市消防団の再編について、紹介します。

### 1年の無火災を誓って

令和2年市消防出初式は1月3日、市役所本庁舎前で行われ、市消防団員や婦人消防協力隊員は地域防災の要を担う使命感を高め、平穏な1年を願いました。

ラッパ隊の演奏に合わせて、消防団員ら約500人と消防車両40台が、約500人を威風堂々と分列行進しました。

統監の田村正彦市長は、日頃から地域の安全・安心のために活動する団員らに感謝を示し「分団の再編の合意が得られ、4月から新体制でスタートする。市としても再編の効果を発揮できるように環境整備に努めたい。皆さんの1年の頑張りに期待します」とあいさつしました。

工藤十九団長も消防団の組織再編に触れ「この再編は、指揮命令系統の充実、適切な機械器具の管理、そして、火災や災害により機動力を生かして対応していくためのもの。新生八幡平市消防団として一丸となり、無火災に向けて努力精進して

いきます」と訓示し、地域防災の強化を誓いました。

### 八幡平市消防団を再編

#### ◆再編までの経緯

平成29年12月の消防団本部会議で分団再編を進めることを決定し、本部・幹部会議を10回開催したほか、団員への説明や意見聴取を行い、令和元年9月25日の幹部会議において再編案の合意が得られました。今後関係する規則などを改正し、4月1日から新体制でスタートします。

#### ◆再編の必要性

働き方やライフスタイルが多様化している近年、消防団員の置かれている環境は変化しています。人口減少、少子高齢化に伴い、消防団員も減少、高齢化が進んでいます。一方、道路事情の改善により、現場移動時間が短縮され、機動力が向上するなど、良い変化も見られます。このような時代の変化に対応し

#### ◆再編の内容

旧町村単位に方面隊を置き、各分団には、部を設置します。

ていくため、再編を行い、団員の確保や消防車両・機械器具の整備、広報活動の充実強化を図っていきます。

分団は左表の通りで、本部・ラッパ隊を除く現行36分団を11分団に再編します。役職(※カッコ内は人数)は、団長(1)、副団長(1)、本部長(1)、方面隊長(3)、方面隊副隊長(6)、分団長(11)、副分団長(11)、部長(23)、副部长(23)、班長(74)。班数は、1班8人(基本団員)で算出しています。



1\_\_威風堂々と分列行進を披露する消防団員  
2\_\_勇壮な吹奏で士気を鼓舞するラッパ隊  
3\_\_ポンプ車などたくさんの消防車両が行進  
4\_\_工藤団長による力強い訓示

### ◎再編後の分団の体制(4月1日から)

所属	旧分団(●数字は旧分団)と受け持ち区域
第1方面隊(西根)	第1分団 ①駅前一区、駅前二区、上町、仲町、下町一区、下町二区、下町三区、松川、雇用促進 ②岡村、山子沢、大石平、中関 ③五百森、山後、両沼 ④白屋、渋川、渋川開拓、北村
	第2分団 ⑤中村、間羽松、高宮(旧大宮を除く) ⑥舘腰、町組、薬師、高宮(旧高森を除く) ⑦上平笠、中平笠、下平笠、南平笠
	第3分団 ⑧わし森、駅前、大泉、山崎(旧蟹沢を除く) ⑨椛沢、笹目、松久保 ⑩小福田、共新、堀切、東、大久保、山崎(旧山崎を除く)
	第4分団 ⑪寺田、寺田新田、土沢、野口 ⑫帷子、若谷地、川原目 ⑬荒木田、舘沢、上関
第2方面隊(松尾)	第5分団 ⑭時森、小屋の沢、安比高原 ⑮中松尾、落合、大花森 ⑯谷地中、湯沢
	第6分団 ⑰上村、森子、田中、喜満多 ⑱向村、山道 ⑲中沢、前森
	第7分団 ⑳北寄木 ㉑中郡、立石、鹿野、関口 ㉒寄木新田 ㉓刈屋、上寄木
	第8分団 ㉔畑 ㉕金沢、温泉郷 ㉖柏台、緑が丘、松川温泉、藤七温泉
第3方面隊(安代)	第9分団 ㉗細野、豊畑、畑1区 ㉘畑2区
	第10分団 ㉙荒屋新町、新町中央、荒屋、秋葉(市営曲田住宅を除く) ㉚曲田横間、市営曲田住宅 ㉛五日市1区、五日市2区、五日市3区、五日市4区 ㉜浅沢第1、浅沢第2
	第11分団 ㉝杉沢、栗木田、平長、田山上、田山下、愛の山 ㉞苗石田、新興矢神 ㉟石名坂、折壁、日瀬通 ㊱舘市、兄畑、兄川



### 地域のためにあなたにもできることがあります

消防団は、まちの安心と安全のために「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、市民の皆さんの参加によって構成される組織です。現在、市消防団には年代も業種もさまざまな人が加入。地域の人のつながりづくりにも消防団・団員が役を担っています。災害時は、消火活動、救助活動、

水防活動。平常時は、火災予防広報、消防操法訓練、救命講習、消防機械器具点検などの活動をしています。市内に居住または勤務する18歳以上であれば、女性や学生に関わらず入団できます。あなたも消防団員の一員として活躍しませんか。【問い合わせ先】防災安全課消防防災係 ☎・内線 1263